

## 川島保育園の老朽改築工事中におけるアスベストの検出について

横浜市民間保育所老朽改築事業を実施している川島保育園（保土ヶ谷区川島町870）において、旧園舎の解体工事を実施中に、旧園舎下の土の中に埋まっていたセメント板からアスベストが検出されました。

なお、セメント板は非飛散性のため、現状のままにおいても周囲に飛散するような状態ではなく、また、上部をブルーシートで覆っているため、飛散の恐れは少ないと考えられます。撤去した破片については梱包して保管しており、飛散の恐れは少ないと考えられます。

また、空気中のアスベスト粉塵濃度測定の結果、目安値以下であることを確認しています。

## 1 アスベストを含有するセメント板の概要

- (1) 発見場所：旧園舎の地中（場所は裏面）
- (2) アスベストの種類及び含有率：クリソタイル（5.2%）

## 2 アスベスト粉塵濃度測定結果（濃度測定箇所は裏面）（単位：f/ℓ）

	6/23（金）	6/24（土）	目安値※2
No.1	0.3未満※1	0.3未満	1 f/ℓ
No.2	0.3未満	0.3未満	
No.3	0.3未満	0.3未満	
No.4	0.3未満	0.3未満	

※1 「0.3未満」という濃度は、定量下限値（濃度として表記可能な限界値）を下回っているという意味で、測定結果としては最も低い濃度となります。

※2 濃度測定結果の単位はf（ファイバー）/ℓ（リットル）となります。大気1リットル中に含まれる繊維本数を示しており、1 f/ℓはWHOの目安値を参考にしています。

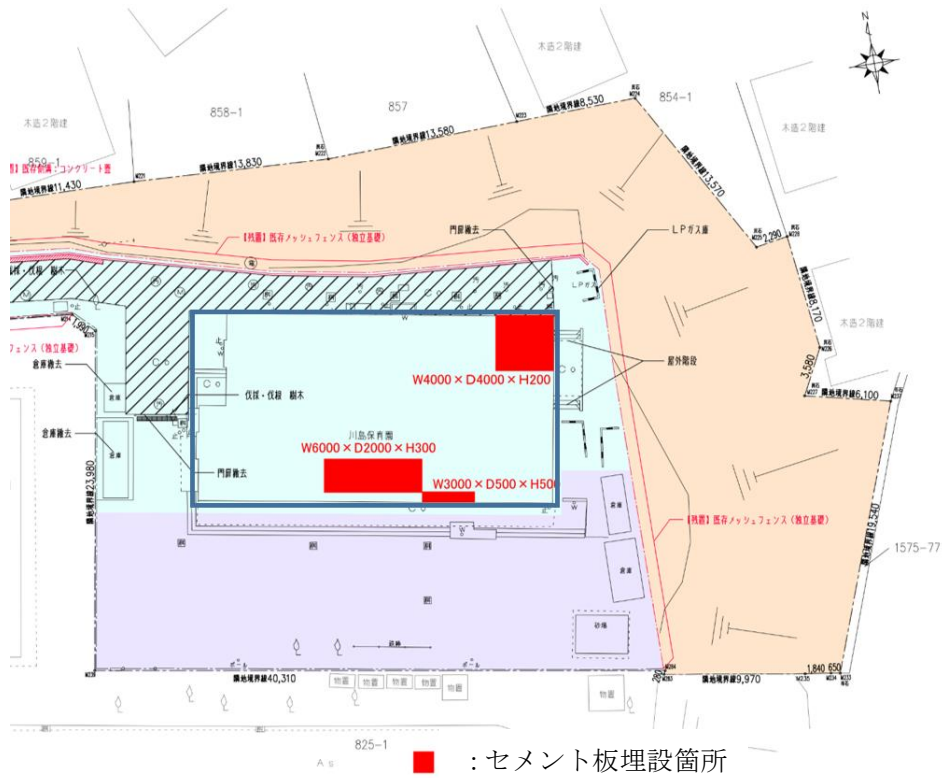
## 3 アスベストを含有するセメント板判明の経緯

- 6月13日：園舎の解体作業中に、園舎下の土の中からアスベストが含まれている疑いのある建築資材（セメント板）を発見。発見された箇所について解体作業を中断
- 6月14日：検体の分析調査を依頼
- 6月21日：分析の結果、アスベストが含まれていることを確認
- 6月23・24日：アスベスト粉塵濃度測定の実施
- 6月26日：アスベスト粉塵濃度測定結果が目安値以下であることを確認
- 6月27日：保護者説明会実施

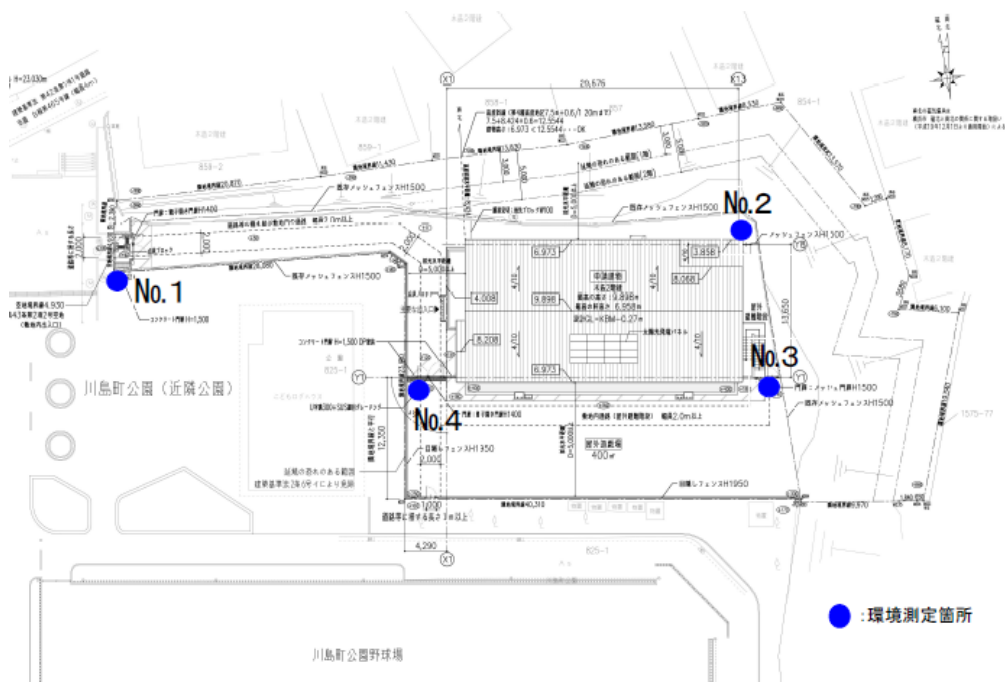
## 4 今後の対応

アスベストを含有するセメント板は、関係法令に基づき適切に処理します。

■埋設箇所



■アスベスト粉塵濃度測定箇所



お問合せ先

(老朽改築事業に関すること)

こども青少年局こども施設整備課長 安達 友彦 Tel 045-671-2376

(土地に関すること)

こども青少年局保育・教育支援課長 大槻 彰良 Tel 045-671-2701